

二十四節気

季夏	晩秋	旧暦六月	小暑	7月7日	大暑	7月23日
孟秋	初秋	旧暦七月	立秋	8月8日	処暑	8月23日
仲秋	中秋	旧暦八月	白露	9月8日	秋分	9月23日
季秋	晩秋	旧暦九月	寒露	10月8日	霜降	10月24日

馬関雑詩

麻田生翼(1823~1864)

一衣帯水僅通津 一衣帯水 僅かに通津なるのみ
 龍動花旗似比隣 龍 動けば 花旗 比隣に似たり
 莫恃不来須有待 来たらざるを待む莫れ 須く待つ有るべし
 守攻勝敗在其人 守攻と勝敗とは其の人在り

バカンゾウシ。アサダセイヨク。イチイ タイスイ ワズかにツウシンなるのみ。リ
 ユウ ウゴけば カキ ヒリンにニたり。きたらざるをタノむナカレ、スベカラクマツ
 アるべし。シユコウとシヨウハイとはソのヒトにアリ。

【注】馬関：山口県下関の雅称。麻田生翼：周布政之助(すふ・まさのすけ)の変名の一
 つ。大河ドラマ「花燃ゆ」では石丸幹二が演じた。この漢詩は文久元年(1861)年、
 周布が下関の海岸防備の視察に赴いて詠んだもの。通津：交通の開けた川の渡し口。花
 旗：花旗国すなわちアメリカ合衆国。

明治二十三年庚寅秋西遊中之作

伊藤博文(1841~1909)

老来豪氣易銷磨 老い來たりて 豪氣 銷磨し易く
 五十星霜夢裏過 五十の星霜 夢裏に過ぐ
 欲向東山尋往事 東山に向かひて往事を尋ねんと欲すれば
 荒墳累累故人多 荒墳 累累として 故人多し

メイジニジュウサンネン コウインのアキ サイユウチュウのサク。イトウヒロブミ。
 おいきたりてゴウキ ショウマシヤスク、ゴジユウのセイソウ、ムリにスグ。ヒガシヤ
 マにムかいてオウジをタズねんとホツすれば、コウフン ルイルイとして コジン オ
 オし。

【注】明治二十三年：1890年。伊藤博文：伊藤利助(りすけ)。大河ドラマ「花燃ゆ」
 では劇団ひとりが演じた。銷磨：すりへる。星霜：歳月。東山：ここでは京都市東山区
 および「東山三十六峰」方面を漠然と指す。

辛亥八月、青淵録旧作

渋沢栄一(1840～1931)

春花落尽忽秋霜 春花 落ち尽きれば忽ち秋霜
一瞬朝暉変夕陽 一瞬の朝暉 夕陽に変はる
休説世間人事劇 説くを休めよ 世間 人事 劇しと
観来造物亦多忙 観来 造物も亦た多忙なり

シンガイハチガツ、セイエン、キユウサクをロクす。シブサワエイイチ。シユンカ
オチツキればタチマチシユウソウ。イツシユンのチヨウキ、セキヨウにカわる。トクを
ヤメよ、セケン、ジンジハゲし、と。カンライ、ゾウブツもまたタバウなり。

【注】辛亥：ここでは明治四十四年(1911)を指す。青淵：渋沢の号。

時事有感

大正天皇(1879年8月31日～1926年12月25日)

風雨南庭木葉疎 風雨の南庭 木の葉 疎らなり
乾坤肅殺久秋初 乾坤 肅殺す 久しき秋の初め
況逢西陸干戈動 況んや 西の陸に干戈 動くに逢ふをや
頻向灯前覽羽書 頻りに灯前に向かひて羽書を覽る

ジジにカンアリ。タイショウテンノウ。フウウのナンテイ、コノハ、マバラなり。ケ
ンコン ショウサツす ヒサしきアキのハジメ。イワンやニシのリクにカンカ ウゴク
ニアウをや。シキりにトウゼンにムかいてウシヨをミル。

【注】時事：ここでは第一次世界大戦を指す。1914年8月23日、日本政府(首相・
大隈重信、外相・加藤高明)はドイツに宣戦布告。羽書：「羽檄」に同じ。古代、鳥の羽
を挿した緊急軍事文書。

和坂領客対月思郷見贈之作

王孝廉(？～815)

寂寂朱明夜 寂寂たり 朱明の夜
团团白月輪 团团たり 白月の輪
幾山明影徹 幾山 明影 徹り
万象水天新 万象 水天 新たなり
棄妾看生悵 棄妾は看て悵みを生じ
羈情對動神 羈情は對して神を動かす
誰言千里隔 誰か言ふ 千里隔つ と
能照兩郷人 能く兩郷の人を照らす

ハンリョウカクが ツキにタイしてクニをオモい オクられしサクにワす。オウコウレン。セキセキたり シュメイのヨル、ダンダンたり ハクゲツのワ。キザン メイエイトオリ、バンシヨウ スイテン アラたなり。キシヨウはミテウラみをシヨウジ、キジヨウはタイしてココロをウゴかす。タレカイウ センリ ヘダつと。ヨクリヨウキヨウのヒトをテらす。

【注】坂領客：平安時代初期の官人・坂上今継（さかのうえのいまつぐ）の唐名。この漢詩は『文華秀麗集』巻上に収録されている。王孝廉：渤海（ぼっかい）国の官吏、詩人。嵯峨天皇の弘仁五年（814）に大使として来日。翌弘仁六年夏五月、帰国のため出雲より出航したが、暴風にあい、越前に漂着し、六月に日本で病死した。この漢詩は平安京を離れる直前に詠んだもの。朱明：夏の異称。幾山：いくつも折り重なった山々。明影：明るい姿形。影は「撮影」の「影」。水天：海や湖や川と天、ないし両者の境界線。棄妾：棄てられた「わらわ（婦人の自称）」。唐の詩人・崔顥（さいこう ？～754）の漢詩『長門怨』の詩句「棄妾長門宮」（ワラワをチヨウモンキユウにスつ）をふまえる。羈情：羈旅の情。

嫦娥

李商隱（813～858）

雲母屏風燭影深	雲母の屏風 燭影 深し
長河漸落暁星沈	長河 漸く落ちて 暁星 沈む
嫦娥応悔偷靈藥	嫦娥は応に悔ゆるべし 靈藥を偷みしを
碧海青天夜夜心	碧海 青天 夜夜の心

ジヨウガ。リシヨウイン。ウンモのヘイフウ、シヨクエイ フカシ。チヨウカ、ヨウヤクオちて、ギヨウセイ シズむ。ジヨウガはマサにクゆるべし、レイヤクをヌスミしを。ヘキカイ セイテン ヤヤのココロ。

【注】雲母屏風：キラキラと輝く雲母を散りばめた屏風。嫦娥：中国神話で月宮に住むとされる仙女。古くは姮娥（こうが）と書いた。「夫がもっていた不老不死の薬を盗んで飲み、自分だけ昇仙して月宮に昇った」とか「旧暦八月十五日の中秋節のお月見の行事は、嫦娥の夫であった后羿（こうげい）が、月に逃げた嫦娥との再会を祈ったことに由来する」など様々な伝説がある。長河：ここでは天の川のこと。

yun2 mu3 ping2 feng1 zhu2 ying3 shen1
chang2 he2 jian4 luo4 xing1 chen2
chang2 e2 ying4 hui3 tou1 ling2 yao4
bi4 hai3 qing1 tian1 ye4 ye4 xin1